

高齢者の社会参加促進について

【第3回検討会での主な意見】

- 高齢者の社会参加促進のためには、「場」づくりが必要であるが、ハード面の整備だけではなく、世代間交流の機会の提供などソフト面の「場」づくりも重要である。
- 社会参加促進のためには、地域における「キーマン」、「リーダー」の存在が重要であり、そのために「人づくり」を進める必要がある。
- 社会参加促進のための新たな施策を考えるだけではなく、市では様々な施策を既に実施しているため、これらの施策を改めて検証し、課題等を整理したうえで必要に応じて見直していくことが必要である。



第4回検討会における議論のポイント

※これまでの議論を踏まえ、「場」づくり、「きっかけ」づくり、「人」づくりの3つの観点から既存事業（他都市の事業も参考）を整理

■「場」づくり

※ハード面は概ね整備されており、ソフト面を重点化

- 老人福祉センター ○老人憩の家
- 老人クラブ ○ふれあい・いきいきサロン
- 地域介護予防活動支援事業（熊本元気くらぶ）等

■「きっかけ」づくり

※身近な地域活動等への参加促進を重点化

- 熊本市優待証（さくらカード）【資料3参照】
- 介護保険サポーター・ポイント制度
- 健康ポイント〔福岡市、北九州市・広島市等〕【参考資料2-①参照】
- 高齢者優待制度〔茨城県、横浜市等〕【参考資料2-②参照】
- その他、地域でのイベント等（夏祭り、清掃活動、ボランティア活動等）等

■「人」づくり

※地域における「キーマン」や「リーダー」の人材育成・活用を重点化

- 公民館講座（人材養成） ○介護予防サポーター養成
- 8020 推進員養成 ○食生活改善推進員養成
- シルバー人材センター
- 生涯現役応援センター〔岡山市〕【参考資料2-③参照】等



今後の更なる高齢化の進展を踏まえ、高齢者の社会参加促進を効果的・効率的に実施していくための方向性や具体的な取組等について議論

- 限られた財源の中、重点化していくべき施策の方向性
- そのために、地域、市民、行政が果たすべき役割